

ハングオーバー点滴に関する説明書・同意書

★ハングオーバー点滴療法について

ハングオーバー点滴とは主成分はグルタチオン製剤です。抗酸化作用があるグルタチオン製剤を主に投与する点滴療法です。

グルタチオンの主な効能は、有害物質「活性酸素」や「フリーラジカル」などの除去です。活性酸素やフリーラジカルは細胞や代謝活動によって作られ、過剰に作られると老化やパーキンソン病の原因になります。

グルタチオンを投与することで有害物質から脳を保護。活性酸素やフリーラジカルによる症状の防止、及び軽減効果が期待でき、ミノファージンを追加することで一気に疲れをとる効果が期待できます。

ハングオーバー点滴療法は、日本において未認可の治療法であり検査・治療は、保険適用外の自費治療となります。

★ ハングオーバー点滴療法により期待できる効果

老化などにより衰えた細胞の回復を後押しする作用や、美容に対するさまざまな効果が期待されます。

日本において以下の安全性が報告されています。健康な人に

①安全に投与可能である。

②投与した際に応じて体内で代謝されていることを確認しました。

本研究は、加齢に伴い生じる疾病の予防や治療に将来的に役立つことが期待されます。

★改善が期待できる臨床効果

・エイジングケア
・脳卒中
・心筋梗塞

・不妊
・白内障
・糖尿病

・低血糖症
・関節炎
・アレルギー

★患者様が体感された効果

・若々しさ
・滋養強壮
・思考力・集中力の向上

・代謝の向上
・熟睡できる
・エストロゲンの上昇

・肌のきめがアップする
・抜け毛の減少

★副作用

ハングオーバー点滴による副作用として、まれに頭痛と吐気・嘔吐を訴えることがあります。一過性であり、投与を中止することで速やかに改善します。ごく稀ですが、特定の遺伝的素因を持った方が摂取した場合、インスリン自己免疫症候群を引き起こし、低血糖状態になることがあります。具体的な症状としては、冷や汗、手足の震え等の症状が報告されます。

★注意事項

治療効果には個人差があり、治療効果を保証するものではありません。また、他の治療法と同様に臨床例が積み重ねられた結果、将来的に現在の検査・治療に対する評価が変化することがあります。

裏面に続く

治療中は必ず担当医の指導に従って下さい。医師の指導に従わない場合十分な治療効果をえられないだけでなく、障害が発生する場合があります。また、治療の過程で異常を感じた場合は必ず医師や看護師に報告し、必要時は医師の診察を受けその指示に従って下さい。

ハングオーバー点滴療法に関する同意書

私は、上記のハングオーバー点滴療法の作用、副作用および安全性について十分に理解し、
ハングオーバー点滴療法を受けることに同意します。

年 月 日

患者氏名

担当医師名



医療法人社団東雲会

新橋虎ノ門健康クリニック

Shinbashi Toranomon Health Clinic